

動労千葉・オ8回団結祭典

決戦へ全力で「ダシシュ」



日刊 動労千葉

86. 11. 10

No. 2402

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二二七二〇七



銚子支部「初優勝」

競技は「青年部」「支部」対抗リレーをもつて終了し、熱戦の余韻さめやらぬ中、恒例の「抽せん会」に一喜一憂。十五時すぎ、表彰式・閉会式、総合優勝は銚子支部、西本支部長に優勝旗がわたされました。準優勝は新小岩、第三位に館山・千葉転、最後に、家族ぐるみ、地域ぐるみで正念場の国鉄決戦を意気高く闘いぬいていくことを誓い合って全員で団結ガンバローを三唱して、大成功のうちを終りました。

すでにゴールした組があるのに、まだスタートで倒れている「むかで競争」、何事も強固な団結が大切です。また、恒例の模擬店で焼鳥、オデン、モチツキ実演、産地直送海産物店、新たに協販部の物資販売も加わり終日にぎわいました。

「なわとび」これはなかなかむずかしい。

十一月三日、第八回団結祭典は、各支部から選りすぐられた選手の「年令別競争」より競技はスタートしました。何事もチームワーク＝団結。さすがに足自慢の「青年部対抗」は往年の名選手もタジタジ、支部の名譽をになつての「支部対抗」には観客席総立ちの応援。奥さんたちの一番人気は「野菜・バーゲンセール」。チビッ子が顔を真赤にしてゴールへとびこむ。やっぱり主役のチビッ子たちはもらった賞品に大よろこび。一チーム四五名からなる「綱引き」は成田・勝浦・木更津混成チームの力の入った勝利。二〇名が呼吸をあわせてとぶ



「委員長ハシビリ
腰ぞよ、しかり」

